

感染予防策

2022 年 7 月 2 日

早稲田大学オリエンテーリングクラブ

感染予防のために JOA の「オリエンテーリング大会・練習会開催時における新型コロナウイルス感染防止のためのガイドライン」より感染予防策を作成しました。

以下の感染防止策を実施してまいります。

- 以下の事項に該当する場合は、参加者に自主的に参加を見合わせるよう伝えること（イベント当日に確認を行う。）。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加者にマスクを持参するよう伝えること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話する際にはマスクを着用すること。）。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2 m を目安に（最低 1 m））を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するよう伝えること。
- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- 体調の確認 スポーツイベントの主催者は、イベント当日に、参加者から以下の情報を、主催者が保存できる形で提出を求めること。
 - ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する。
 - ② イベント当日の体温
 - ③ イベント前 2 週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等

カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知すること。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知すること。
 - スポーツイベントに参加する個人や団体は、イベントの前後のミーティングにおいて、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
 - 参加者がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保すること。
 - ① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
 - ② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
 - ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。）
 - ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。
 - 運動・スポーツを行うための服装に着替える更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備すること。
 - ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。（障がい者の介助を行う場合を除く。）
 - ② 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
 - ③ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。
- 3) 運動・スポーツを行う際に利用する洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理すること。
- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること。
 - ② 手洗い場には石鹸を用意すること。
 - ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。）

- 飲食物の提供時 スポーツイベントの主催者は、運動・スポーツの際の栄養補給等として飲食物を参加者に提供する際は、以下に配慮して行うこと。
 - ① スポーツドリンク等の飲料については、使い捨ての紙コップで提供すること。
 - ② 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。
- 換気設備を適切に 運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。
- ゴミの廃棄 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。また、マスクや 手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

- 以下の留意点や利用者が遵守すべき内容を周知・徹底すること。
 - ① 十分な距離の確保 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。
 - ② その他
 - ア 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
 - イ タオルの共用はしないこと。
 - ウ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
 - エ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に 捨てないこと。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、イベント当日に参加者より提出を求めた情報について、1月以上保存しておくこと。